



## ピンチをチャンスに変えよう

いよいよ新学期が始まり中堅学年としてのスタートをきろうという時期に、学校に来られない事態になってしまいました。もちろん、今は自分や周囲の人々の命を守ることが最優先ですが、この期間をしっかりと自分の進路について考え、また、自分の学力を客観的に把握し、志望校に受かるための具体的な取り組みを始めましょう。学校でクラスメイトと勉強し、担任と進路の相談をできないピンチを、「自ら考え行動する力」を身につけるチャンスに変えましょう。

### 【1, 今の時期にすべきことと大学受験の意味】

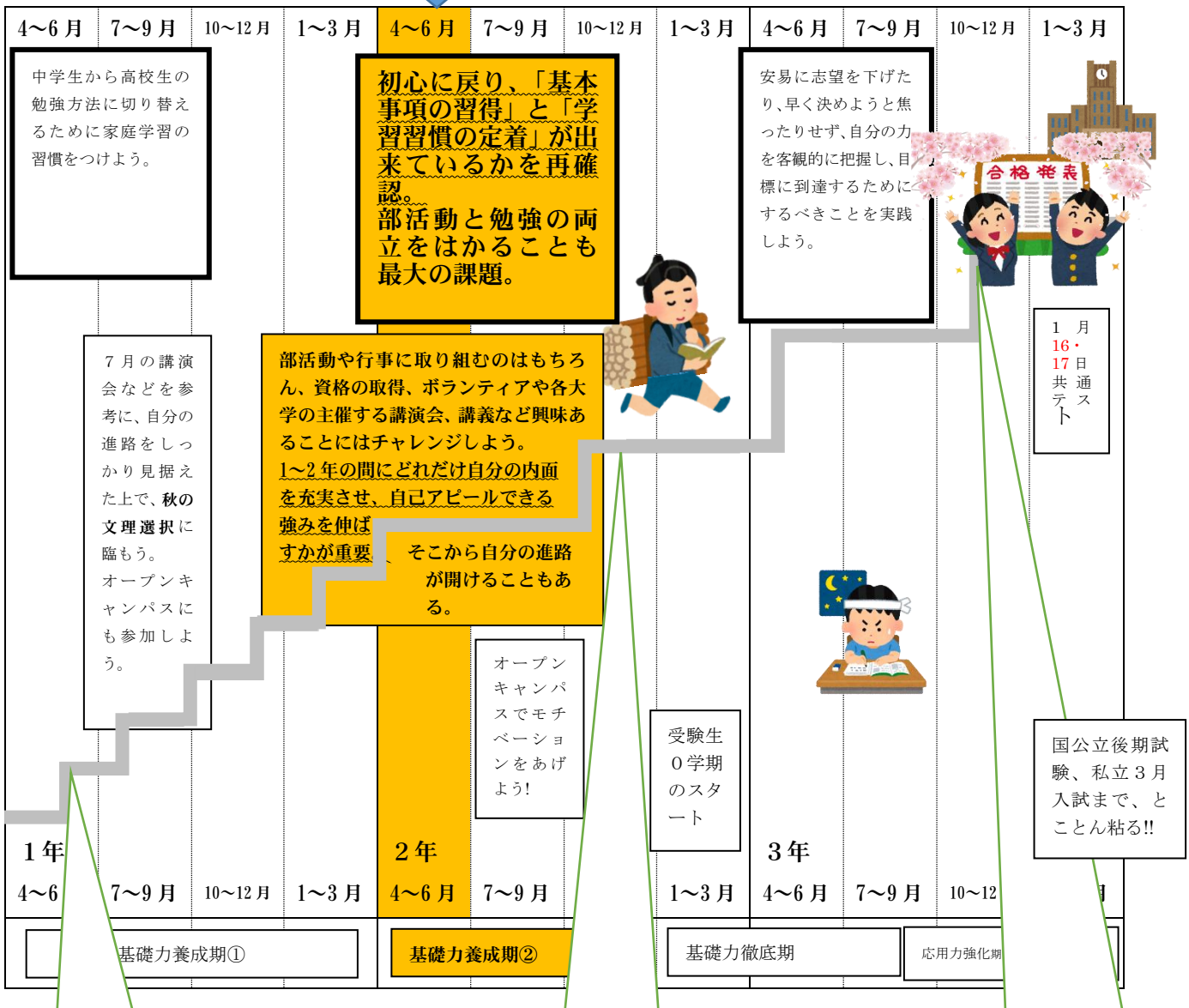
1・2年の時期に自分の本当にやりたいこと、したい仕事についてしっかりと考え、高校3年生の3月まで粘って自分の力を最大限に伸ばし、勝ち取った大学こそが、自分の進むべき大学です。大学受験を単につらいもの、大学に受かりさえすればよいものとするのではなく、自分の人生について真剣に考え、学力だけでなく精神力を鍛える最高の機会であり、今後の皆さんの人生をより豊かにするためのものと前向きに捉えて下さい。

本当にやりたいこと、したい仕事を考えて、早めに目標を設定することが一番大事!!

1年生

2年生現在地

3年生



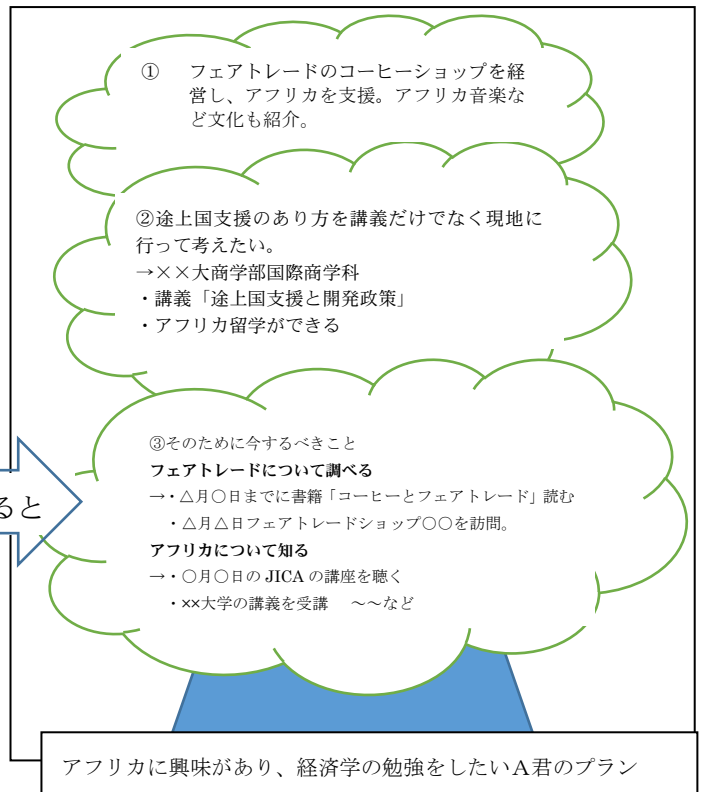
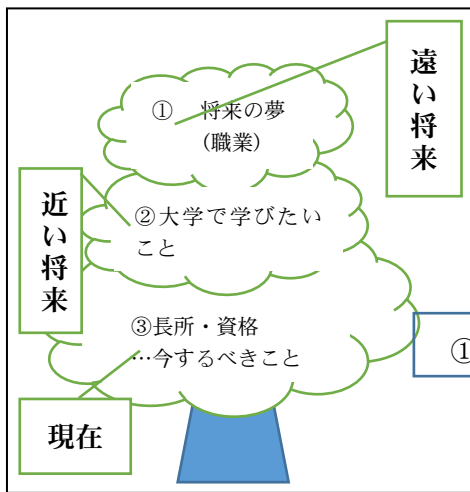
低学年は、やればすぐ結果がついてくる。結果が出れば、勉強も面白くなるはず。

だんだん、成果がでるまでの「溜め(スランプ)」が長くなるが、その時期を乗り越えると「飛躍」が。

3年の夏あたりまではなかなか努力しても模試成績に反映せずくじける人も多いが、夏の努力は秋以降実る。現役生は秋から冬にかけて、更には入試を経験しながら伸び続ける。

## 【2, 進路についてじっくり考える】

…BTP の復習…



1年のBTPでは、上右の図の①～③について考えました。まだ、不十分だという人は、下記の図に従ってもう一度「進路探究ワーク」「ムック」を参考にして考えてみましょう。①～③が一貫していることはもちろんですが、今、上左の図のようにそれぞれについて具体的に考えた上で、自分の進路実現のために今何をすべきか、つまり③の部分をもっと充実させるかを考えてほしいものです。大学に合格するための勉強はもちろんですが、将来学ぶべきことについて調べたり、体験したりする取り組みを考えましょう。②の大学については現時点では絞り込み過ぎない方がいいと思います。いくつかの候補を考えておきましょう。

### ①②ともに未定の人

自分の得意科目や特技、好きなこと興味のあることをピックアップして、自分の個性を生かすにはどのような仕事があるか→①  
学部・学科の内容を調べて自分が学びたいと思えるものを探す→②

※「進路探究ワーク」  
「進路探究ムック」  
を読み直してみよう。

### ①「将来の夢（職業）」が決まっている人

その仕事につくための資格や、必要な能力から、学部・学科を考える。  
A 医師・看護師のように特定の学部でないといけない職業、  
B 税理士のように特定の学部に進んだ方がよい職業、  
C どの学部でもつける職業があるの、特にABの職業を考えている人は注意が必要。

### (①は未定だが) ②「大学で学びたいこと」が決まっている人

自分の学びたいことが学べる学部・学科を調べる。学科名が異なっても似たような内容が学べる場合もあるのでよく調べよう。また、その学部・学科からどのような職業選択が可能かも調べよう。

学部・学科決定(1年)



※夢ナビライブ講義動画を視聴する  
2,800本以上ある講義動画全ての視聴はできないが、  
<https://frompage.jp/douga/pr/>や  
[https://www.youtube.com/channel/UCPkNae-Qt5n4p-r6iU\\_A1Fw](https://www.youtube.com/channel/UCPkNae-Qt5n4p-r6iU_A1Fw)  
で視聴できる動画があります。  
自分の学びたい学問分野を再確認し、受験に向けてのモチベーションをアップするには最適。



## 大学決定(2年～3年)

その学部・学科がある大学を幅広く(国公立・私立、地方など)調べる。  
→それぞれの受験科目を確認。家庭の経済状況についても相談しておく。

### ※大学のHPを調べる

大学のHPでは、取得可能な資格、卒業後の進路、学べる内容、教育制度、学費・奨学金、受験科目などを知ることができる。第一志望大学だけではなく、実力相応校、地方の大学など幅広く大学の内容を調べてみよう。

同じ学科でも学べる内容が大学によって違うので、比較してみると志望校の幅も広がる。私立大学を第一志望としている人も、三教科で受験できる地方公立大学もあるので視野にいれてみよう。

自分の学びたい学問から大学を探すには「逆引き大学辞典」を活用しよう。「逆引き大学辞典」のサイト <https://www.gyakubiki.net/> も便利。

### ※家族の方と相談する

この時期は、自分がどんな進路を考えているかを家族の方と相談できるよい機会。自分が考えていることや大学について調べたことを話したり、家族の方が考えている進路についての条件を聞いたり十分な話し合いをしておこう。

1年生の7限を三木高校ではBTPとよんでいました。BTPとはBig Tree Projectの略であり、三木高生が、将来自分の個性を最大限に発揮して大きな木に育つための根を深く張り、幹を太くすることができるような時間にしたいという思いをこめて、そう名付けられたのです。BTPは当時の三木高生の自己PR力を高め、自分の考えを文章や発表で発信する力をつけようということを目的としスタートしました。また、Big Treeとは、誰かがその木陰で安らげるような大きな木、つまり、なんらかの形で社会に貢献できるような素晴らしい人に育ってほしいという思いも込められています。世界で一番貧しい大統領として話題になったホセ・ムヒカ氏は、東京外国語大学で講演した際、平等・民主主義の尊さを説いた上で、「社会をよくするために戦うことが人生の大義であり、大学で勉学できる素晴らしいチャンスを得た者にとっては、そのような機会を得ることができなかつた者に手を差し伸べ、社会をよりよくするために努めなければならない」と話しました。是非みなさんにも、自分が誰かのために社会のために何ができるかという視点を持って自分の将来像を描いてほしいと思います。

## 【3, 「自ら進んで学ぶ」姿勢を身につけ、基礎を復習する】…先輩の合格体験記から

- ① 基礎を大切にすること
- ② しっかり復習すること

大学入試は1・2年で培った基礎力がなければ対応できません。逆に言うと1・2年で学んだ内容が身につけていれば、受験生として余裕を持ってスタートが切れるということです。

ただ、課題テストの採点をしていると、授業で何度も繰り返したはずの基礎知識を覚えていない人が多いようです。それは、授業でも課題でも自ら覚えようとせずにただ聞いているだけ、答えを写しているだけだからではないでしょうか。1年生で身につけるべき基礎知識をおろそかにしている人があまりにも多過ぎます。この期間に、1年で使用した授業ノート、問題集、模擬試験などの総復習に、自ら進んで覚えよう理解しようと意識して取り組みましょう。自主的に学ぶ姿勢を身につけることが今の最大の課題です。

- ③ 時間を意識すること

「入試は時間との勝負である」と言いますが、これには2つの意味があります。1つ目は先輩が書いているように、制限時間内に問題を解かなければならないという意味ですが、2つ目は入試の日に間に合うように計画的に受験勉強に取り組みねばならないということです。この期間に、【1】の2年生の現在地で何をなすべきかを確認し1年後を見据え、また自分の今の実力を客観的に把握した上で、基礎知識を復習するための学習計画を具体的に(どの科目、分野を重点的に取り組むか、どの教材を使い1日にどれだけの量を覚えるか)立てましょう。

### ★「3点固定」で規則正しい毎日を送る。

通常、「3点固定」とはしっかりと家庭学習を組み込んだ規則正しい生活をおくるために「①起床時間・②家庭勉強開始時間・③就寝時間」を固定することをいいますが、今は、「①起床時間、②授業を想定した学習開始時間+家庭学習の開始時間、③就寝時間」を固定しましょう。もちろん、学習時間の中には進路を考える時間など、今しかできないことも含めて考えましょう。

とはいえ、悪い習慣と比べて良い習慣は身につけにくいものです。まず3日続けてみましょう。「三日坊主」という言葉があるように、3日がやめなくなるピーク。ここで踏ん張って1週間から10日続ければ、慣れてきて効果が現れるので、やめたらもったいないと思い、続けることができます。

【先輩はこうして志望校に受かった!!】（「2020進路の手引き」より）



「受験を振り返って」

神戸大学 経済学部 経済学科

T. F

一年間の受験生活を振り返ってみても、何か特別なことをしてきたわけではないので、あまり参考になるようなことは書けません。特に大切だと思ったことをいくつか伝えようと思います。

一つ目は、基礎を大切にすることです。僕は、三年生の一学期まで基礎を馬鹿にして何となく問題演習に取り組んでいました。当然、得点も安定せず、夏休み前に神戸大学の国語の過去問を解いてみると、古文と漢文がほとんど分からず、添削していただいた先生から、まず古文単語と漢文句法を覚え直したほうが良いとアドバイスしていただきました。その言葉通り、夏休みに毎日単語と句法を暗記し続けた結果、二学期以降の模試などでは自信をもって解けるようになり、得点も安定してきました。これから本格的に受験勉強を始めていく三年生の皆さんには、もう一度、基礎ができているかを見直してほしいと思います。

二つ目は、問題演習が終わったら、しっかり復習をすることです。僕自身復習をすることが苦手で、定期テストや模試の復習を真面目にしたことはほとんどありませんでした。しかし、受験勉強を続ける中で、解説には解答の過程から重要な知識まで詰まっているということを実感し、演習と同じくらい復習にも時間をかけるようにしました。また、マーク式の問題でも、どこがどのように間違えているのか、どう直せば正しい選択肢になるのか、というように、誤った選択肢からも学べることはたくさんあります。多くの問題に触れることはもちろん大事なことです。それ以上に復習を意識して勉強に取り組むことが大事だと思います。

三つ目は、時間を意識して演習に取り組むことです。僕が初めてセンター試験の過去問を解いたときは、時間の短さに驚きました。特に数学は、苦手な科目だということもあって、最後まで解ききれたことは一度もありませんでした。しかし、時間を意識して演習していくことで、時間感覚を体感し、自分に合った時間配分を考えていくことができるようになると思います。最初は難しいかもしれませんが、徐々に慣れていってほしいと思います。

僕が受験勉強を通して実際にやってきたことは、主にこの三つのことです。基礎が固まれば演習をして復習し、抜けていた知識は基礎に戻って覚え直すということを繰り返していました。今回の結果だけ見れば、もともと勉強ができていたからこんなに偉そうなことが言えるのではないかと思う人もいるかもしれませんが、実際は、三年生の一学期まで模試の結果はE判定ばかりでした。それでも、基本的なことを疎かにせず、最後まで続けてきたことで、少しずつ成績も上がり、合格できたのだと思います。

今、D判定・E判定でも諦める必要は全然ないと思います。最後の最後まで粘り強く続けていけば、合格できるチャンスはいくらでもあります。志望校に合格できるように、残りの受験生活を頑張ってください。